

Library

町生涯学習センター図書室からの10月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽に参加ください。

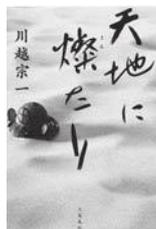
■日時 10月11日(木)

午前10時30分

■会場 図書室おはなしのへや

第25回松本清張賞受賞作品

川越 宗一著 / 『天地に燦(さん)たり』



文藝春秋

小説

戦いを厭(いと)いながらも、戦いの中でしか生きられない島津の侍大将。朝鮮国の被差別民でありながら、儒学を修めたいと願う青年。自国を愛し、「誠を尽くす」ことを信条に任務に就く琉球の官人。豊田秀吉の朝鮮出兵により侵略の風が吹き荒れる東アジアを、3つの視点から克明に綴(つづ)った読み応えのある1冊です。

くまモンが伝記になりました!

熊本県くまモングループ監修 / 『くまモン』



小学館

児童書

2011年の九州新幹線開業に合わせ、熊本県のPRのために誕生し、日本一有名なご当地キャラになったくまモン。2016年4月の熊本地震の被害状況や、そこから復興を目指す人々を支え続けてきたくまモンの活躍を、学習まんがシリーズで紹介しています。巻末には、蒲島郁夫熊本県知事による解説などの記事もあります。

戦中・戦後のあの日々をどう生きたか

『戦中・戦後の暮らしの記録』



暮らしの手帖社

一般書

1969年刊『戦争中の暮らしの記録』から50年。ふたたび「暮らしの手帖」は戦争体験の手記を募りました。戦時中の記録に加え、戦後の混乱期のできごと、体験者からの「聞き書き」など157点を収録しています。庶民の戦中・戦後の暮らしがわかる貴重な記録であるとともに、あの戦争を生き抜いた方々からの命のメッセージです。

長崎と天草の潜伏キリシタンの世界遺産

松田 典子著 / 『世界文化遺産 美しき教会と祈り』



講談社

教養娯楽

世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。潜伏キリシタンの末裔(まつえい)たちが、今も祈りを捧げる長崎と天草地方の美しい教会とその暮らしを、写真と文章で紹介しています。ミサや教会内部など、貴重な写真が満載。さらに教会を巡るモデルコースも紹介してありますので、世界遺産を巡る旅におすすめの1冊です。

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私のおすすめする本は、「命はどうしてたいせつなの?」という絵本です。

私は、「命はどうして大切なの?」と問いかけられても正しく説明することができないと思います。なので、この本にはどんなことが書いてあるのだろうと疑問に思い手にとって読んでみました。

今月の案内人



渡邊 志保さん
(岩下二区)

この本に書かれている内容は、「食を通しての命のつながり」と「人との出会いを通しての命のつながり」の大きく二つに分けて書かれ

Read This Story! 私のおすすめ図書

『命はどうしてたいせつなの?』(大野 正人著)

命は大切。でも、人は命をうばって食べる。命は大切。でも、ときには人は、自分の命すら大切にできない。自分で考える「こころ」を育むえほん。

ていて、一つ目の食のつながりでは毎日の食事に感謝しながら生きていくことの重要性を深く考えさせられ、また二つ目の人と人のつながりでは、家族だけでなく成長と共にとくさんの人と出会い、命のふれあいが人の「心」を作ってくれるということに気づけます。

どうして命は大切なのか。この問題に正しい答えはないということにこの本を読んで気づく

ことができました。皆さんもこの本を読んでみてはいかがでしょうか。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか?

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

IT講習会 はじめてのパソコン

平成30年度のIT講習会最初の講座「はじめてのパソコン」が、9月18日（火）から町生涯学習センター視聴覚室で始まりました。

同講座はパソコンのスイッチの入れ方から始まり、



▲パソコンの操作方法などを学ぶ受講者

文字入力の方法、インターネットでの地図の閲覧、ネットショッピングの仕方などを全6回で学習します。

スクリーンに映し出された画面を見ながら、実際にパソコンを操作します。少人数の講座のため、分からない部分や疑問があるときも安心して学べます。

10月には「Wordの基礎と文書作成」「Excel基礎から中級」「楽しいスマホとタブレット入門」講座を予定しています。ご希望の方は、お早めに申し込みください。

町公民館出前講座 便について学ぶ

8月29日（水）早川公民館で、出前講座を開催しました。

大腸肛門病センター高野病院の薬剤師である横山賢二さんを講師に迎え、「よいウンチを出すために」を

テーマに、便ができる仕組みや、肛門の構造、便秘を起す病気などを詳しく学びました。参加者は17人。



▲便ができる仕組みなどを学んだ早川区の出前講座

横山さんは、「よいウンチを出すためには、運動療法と食事療法が必要です。その基となるのは生活療法で、規則正しい生活をすることです。毎日朝食を取り、朝トイレに行く習慣を付けるの形を見て確認するようにしましょう」と話されました。

▶町民大学のお知らせ

第1回講演会を開催します

●開催日時

10月9日（火）
午前10時～正午

●会場

町生涯学習センター・ホール

●演題

いい眠りで健康な明日
～起きてるときの一工夫～

●講師

久留米大学医学部
内村 直尚 教授

※どなたでも参加できますので、ご近所・お友だちお誘いの上、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■平成30年度甲佐町就学前人権教育部会第1回研修会開催

8月18日（土）、町生涯学習センターで、「平成30年度甲佐町就学前人権教育部会第1回研修会」が開催されました。参加者は52人。

第1部には竜野保育園よりレポート報告があり、同園における子どもたちの人権に対するさまざまな支援や取り組みが紹介されました。その後、全体を7班に分けてグループ討議を行い、意見交換を行いました。グループ討議では、保育園や小学校あるいは行政などそれぞれの立場で、

レポートの内容を深く掘り下げた様々な意見が交わされました。

第2部では人権啓発DVDを視聴しました。この作品は「目に見えにくい違い」の1つである発達障害のある人の生きづらさや痛みを伝えるとともに、「ともに生きることの喜び」を伝えるDVDとなっており、参加者からは「普通という言葉に、いつの間にかとらわれていることに気付かされました」、「『人間もジグソーパズルみたいに1人ひとり違う。違うからこそ組み合わせると面白い』という言葉が心に残りました」などの意見がありました。

本研修は、甲佐町の人権教育推進のための良い機会となりました。



▶町生涯学習センターで開催された研修会

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)